

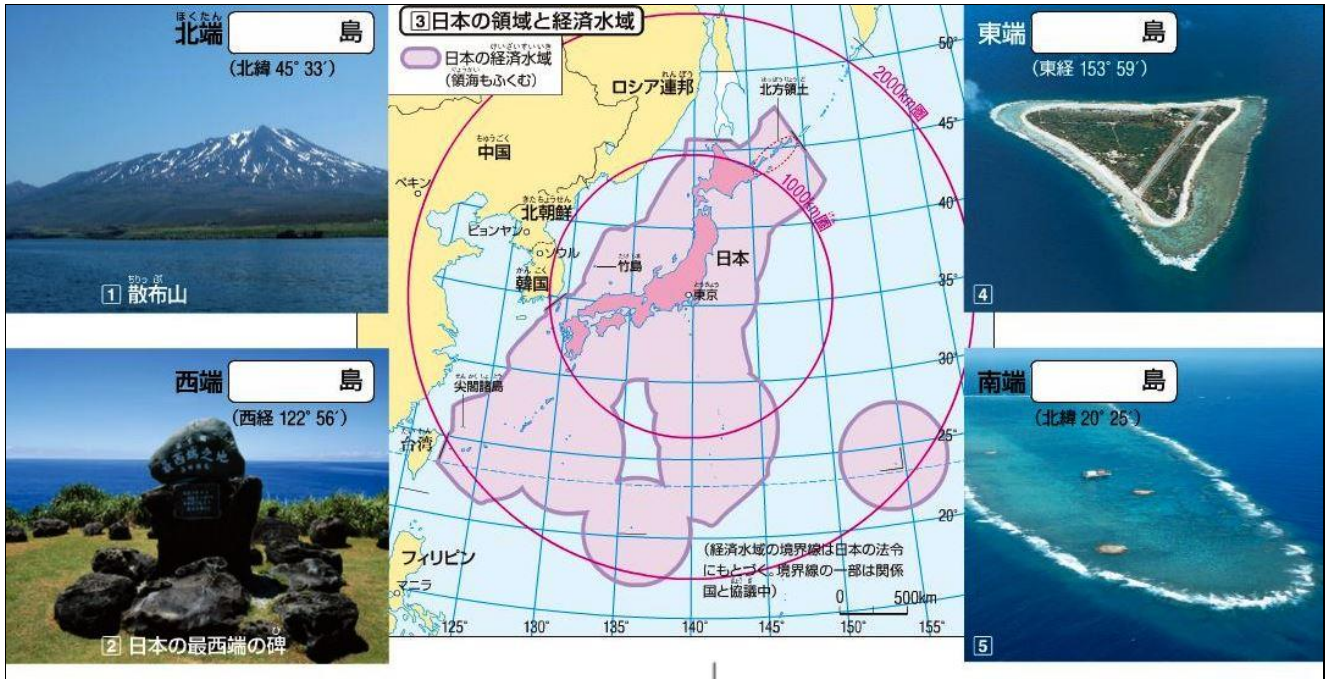
地誌 第39回「日本地誌(1) 日本の領域と自然環境」

○今回のポイント

日本列島はせばまる境界が形成した弧状列島。南北に長く、6パターンの気候に分かれる。

日本の領域と自然環境

日本の領域

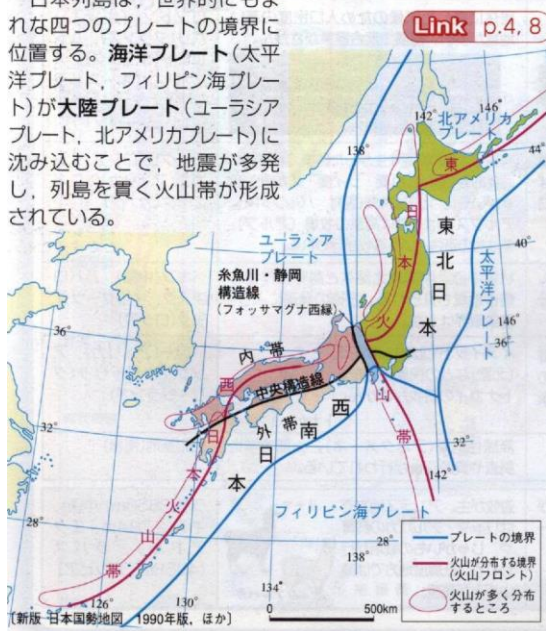


○国土面積…37.8万km²：北方領土問題(ロシア)、竹島問題(韓国)、尖閣諸島問題(中国)

日本の地形

2 プレートの境界

日本列島は、世界的にもまれな四つのプレートの境界に位置する。海洋プレート(太平洋プレート、フィリピン海プレート)が大陸プレート(ユーラシアプレート、北アメリカプレート)に沈み込むことで、地震が多発し、列島を貫く火山帯が形成されている。



○新期造山帯の[① 環太平洋造山帯]に属する。

○[② せばまる境界]

・海洋プレート(太平洋プレートとフィリピン海プレート)が大陸プレート(北アメリカプレートとユーラシアプレート)の下に沈み込む。

⇒海溝…[③ 日本海溝]、千島カムチャッカ海溝

⇒[④ トラフ](海溝ほど深くない海底の細長い凹地)

○[⑤ 弧状列島]…海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込む所に形成される弧を描くように連なった列島。

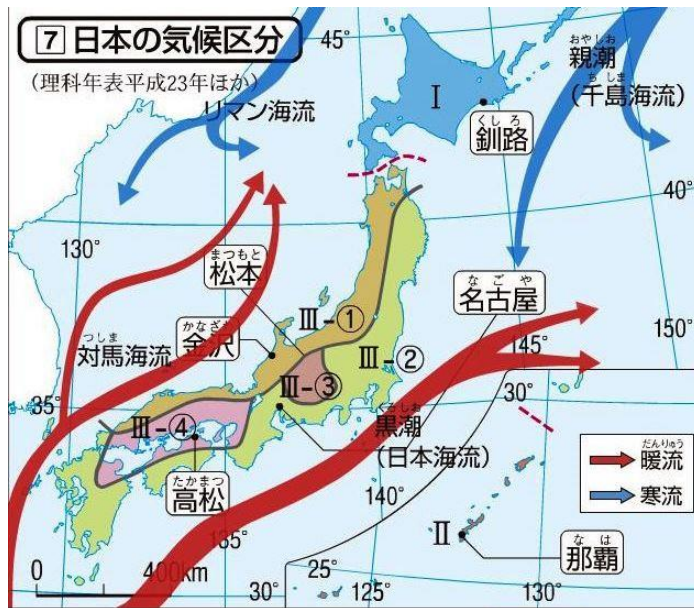
○[⑥ 火山帯]…海溝ではプレートの摩擦やマントルによってマグマが生じ、このマグマが地表に噴出して火山を形成するため、海溝の大陸側には火山前線が走る。

○[⑦ 活断層]…最近の地質時代(新生代第四紀)まで変動を繰り返してきた断層で、今後も活動する可能性がある。

○[⑧ フォッサマグナ]…日本列島を東北日本と西南日本に分ける大地溝帯。本州の中央部を南北に縦断するプレートの境界を糸魚川・静岡構造線といい、この線を西の縁とする。西南日本はさらに中央構造線で内帯と外帯に分けられる。

○河川…日本は国土面積の6割が山地であるため、距離は短く、勾配が大きい[⑨ 急流]となっている。

日本の気候



- Ⅰ…北海道の気候
冷帯(亜寒帯)
- Ⅱ…南西諸島の気候
亜熱帯(熱帯に近い温帯)
- Ⅲ…温帯
 - ①日本海側の気候
冬の降雪・くもりが多い
 - ②太平洋側の気候
冬の晴天が長い
 - ③中央高地の気候
高地は冷帯に近い
 - ④瀬戸内の気候
夏の降水量がやや少ない

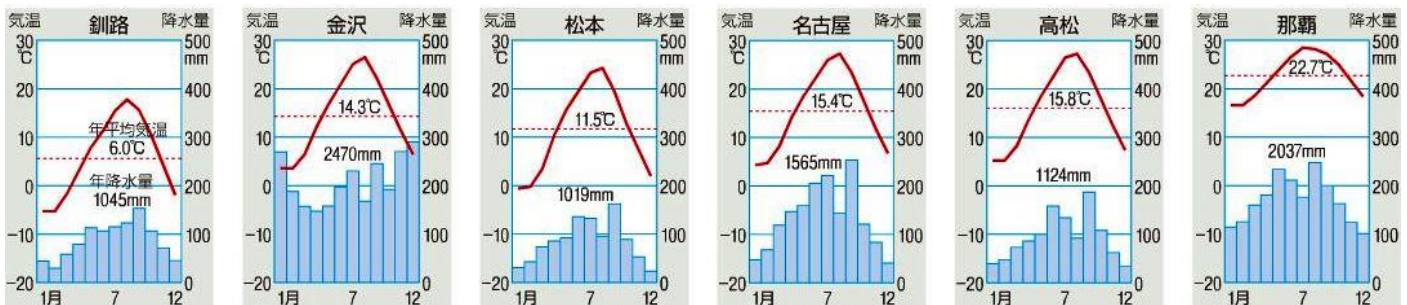
○ユーラシア大陸東岸⇒季節風の影響。気温の年較差が比較的大きく、四季が明瞭。

⇒夏：太平洋からの[⑩ 南東季節風]の影響で高温多湿、蒸し暑い日が続く。

⇒梅雨：日本の南側の高温多湿な[⑪ 小笠原気団]と北側に形成された低温多湿な[⑫ オホーツク海気団]がぶつかりあって梅雨前線が形成。暖かい空気が急速に冷やされ、空気中に含まれる水蒸気が雲になり、雨が降りやすくなる。

⇒冬：シベリア高気圧から吹く[⑬ 北西季節風]の影響で寒さが厳しい。風上側の日本海側では降雪が多いが、風下側の太平洋側ではからっ風で晴天が続く。

○気候区分…本州以南の大部分が温暖湿潤気候(⑭ Cfa)、本州の一部と北海道は冷帯湿潤気候(⑮ Df)。



○日本の気候

北海道	釧路	[⑮ 冷帯湿潤気候]。冬の寒さは厳しく夏も冷涼。梅雨や台風の影響をほぼ受けない。
日本海側	金沢	冬の大陸性の北西季節風が[⑯ 日本海]上を通過する際に、大量の水蒸気を含むため大雪になる。夏は晴天が多く気温も高くなる(※東北地方はやませが発生し冷害)。
内陸性	松本	夏は暑く、冬は寒い。気温の年較差が大きい。周囲を山脈でさえぎられ、年降水量は少ない。[⑰ 中央高地]では夏でも冷涼となり、朝晩の寒暖の差(日較差)も大きくなる。
太平洋側	名古屋	夏は海洋性の南東季節風の影響で高温多湿。冬の北西季節風は山脈を越える際にかからっ風となるので[⑱ 乾燥]し晴れる。台風の影響を受け6~9月には雨が非常に多くなる。
瀬戸内	高松	中国山地と四国山地に挟まれており、南東季節風も北東季節風も遮られるので、年間を通して雨が少なく、[⑲ 干ばつ]が起こりやすい。
南西諸島	那覇	[⑳ 亜熱帯](熱帯に近い温帯)で年間を通して気温が高くなる。梅雨や台風の影響を受けやすく、夏から秋にかけて降水量が多くなる。